

## 平成30年度 第3回 社会教育委員の会議 摘録

- 【日 時】 平成30年11月27日（火）午後2時00分～3時30分
- 【場 所】 生涯学習支援センター 1階 多目的室
- 【出席委員】 西田、鶴岡、堺（婦）、野田、松尾、江崎（君）、江崎（美）、藤本、岡本、柿川、堺（裕）（敬称略）
- 【欠席委員】 上田、原田、後藤（敬称略）
- 【行政関係者】 中村市民協働部長、中島市民協働部調整監、徳川地域コミュニティ推進課長、大倉野生涯学習課長、境生涯学習課青少年担当課長、野田人権・同和教育課主幹、吉富生涯学習課青少年教育担当主査、平川同課青少年教育担当職員、西田地域コミュニティ推進課社会教育主事、上田同課社会教育担当職員

### ◆あいさつ

中村市民協働部長

### ◆報 告

#### 九州ブロック社会教育研究大会熊本大会について

配布資料『研修会参加報告書』に基づき、江崎(美)委員、堺（婦）委員より報告。

### ◆議 題

#### 「子育て情報誌おおむたっ子」に掲載する社会教育委員からのメッセージについて

配布資料『協議事項「社会教育委員からのメッセージについて」』に基づき、吉富生涯学習課青少年教育担当主査より説明。その後、委員による意見交換。

議長	メッセージに関して委員より提出いただいた意見を元に事前に協議を行った。「地域での子育てを楽しもう」「地域でのつながり」「地域での子育てを応援するお役立ち情報」をメッセージとしたらどうかと、意見として取りまとめた。つきましては、その内容に関して日ごろの活動から、委員が持っているような情報や、参加するといったことがある等、意見いただきたい。
委員	通学見守り隊を続けている。通学している子供たちに挨拶をするだけだが、なれてくると挨拶してくれる。 若い方も子どもができる変わり、隣組について説明すると入るような、子どもを通したつながりがある。
委員	2週間前、小学校4年生の男の子が家の前を通った。見慣れない子だから、名前や小学校名を聞いたら、「個人情報だから教えられません」と言われた。
委員	小学校では「いかのおすし」と教わっている。
委員	中学生へのアンケートで、人との関わりについて、できれば関わりたくないという子が年々増えてきている。人との関わりも変わってきて、昔は買

	い物でも店員さんと話しながら決めていたが、今はネットで商品が買える。地域の人が子ども達にどう声をかけるか。家族が少なくなっている中、地域との関わりは重要だと思う。
議長	人との関わりが希薄になってきている。声をかけあえる場とかイベントはないか。
委員	自分の地域では、子どもたちと年2回美化活動をしており、年代を問わず関わりができる。夜には反省会をおこない、不安に思っていることを話せればと思っている。 メッセージは上から目線の押し付けはよくないと思う。ほめてもらえると、明日も頑張ろうという気持ちになる。
議長	地域活動に参加すると不安に思っていることも相談できる。
委員	天の原校区のハロウィーンの取り組みも良いと思った。
委員	天の原校区の米生団地で実施している。サロン活動をしている人のうち、協力していただける家にお菓子を用意し、そこに子ども達が訪問する。子どもと高齢者が関わりを持つことが出来ている。
委員	玉川校区では、どんど焼きで大人山と子ども山がある。子ども山は、子ども達が自分達で作る。竹を組んで山を作るときには、大人と子どもがコミュニケーションをとりながら作っている。危険なときは、大人が怒ってくれることで、どんなことが危険なことなのか知ることが出来る。コミュニケーションをとるだけでなく、危険についても学ぶ事が出来る。
議長	楽しいイベントが、視点を変えると子育ての面でも良い。
委員	銀水太鼓というものがあり、小学校6年生が引き継いでいる。銀水まつりというPTAが主催し、地域の人や先生方が参加するイベントがあり、お父さん達がお化け屋敷を作ったり、太鼓の演奏をして地域の人が遊びに来るイベントをしている。
委員	地域のイベントは、公民館などに入っていないと参加しづらいけど、銀水まつりは、地域の人がPTAの人に声をかけやすい場。地域とPTAをつなげる良い取り組みだと思う。
委員	まち協とPTAのつながりがほとんどない。
委員	大正校区はアンビシャス広場を設けていたので、PTAとまち協は関わりがあった。
委員	幼稚園とのつながりはどうか。
委員	幼稚園だと園児達は校区の子だけではないので、関わりが難しい。
委員	行事をしてつながりをつくる。筑後の下妻小学校では、地域と小学校が協力して、渦リンピックというイベントを実施した。小学校はこのイベントを通して、地域とのつながりができたと言われていた。
議長	行事を通して、どういったメッセージを伝えたいか。
委員	上内校区は、学校の運動会に地域も入る。競技のうち、半分は地域の運動

	会のような種目をしている。
委員	玉川校区の運動会は、高齢化のため、小学校と一緒にしようと思ったが難しかった。
委員	公民館に入っていないと、地域のイベントの情報が入らない。見守り隊のように、普段の生活にいてもらうだけでも非常にありがたい。親が人と関わりを持たないと、子どももそうになってしまう。
委員	キーワードは「つながる」「地域への一歩」。いきなり介入から始まると難しいのではないか。
委員	メッセージとして「地域の人たちは、皆応援しているよ」
議長	気づいていないだけで、実は地域には色々ある。
委員	地区公民館のアmbiシャス広場では、みんな顔が分かるし、子ども達も挨拶をしてくれる。
委員	紙面としては、各地域でのイベントの写真をのせて、「参加すると楽しいし、人とのつながりもできますよ」というようなメッセージが掲載できれば良いのでは。

#### ◆その他